

# 視察報告書

平成 30年 2月 2日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会

(代表) 議員 竺原晶子



政務活動費により行政視察を実施しましたので、次のとおり報告します。

## 記

1 視察期間 平成30年 1月27日（土）から平成30年 1月31日（水）まで

2 視 察 先 (1) なみきスクエア：福岡県福岡市東区  
(2) 飯塚市役所：福岡県飯塚市  
(3) 多久市役所：佐賀県多久市  
(4) 唐津市役所：佐賀県唐津市

3 視察議員名 (1) 竺原晶子 (2)～(4) 新政会・公明党・グリーン共同と合流

4 面 会 者 別紙 名刺を参照

5 視察目的 (1) 第9回子どもとメディア全国フォーラム  
「スマホ社会と子どもの育ち」について  
(2) e-ZUKAトライバレー構想について  
(3) ふれあいバス・ふれあいタクシーについて  
(4) ICTを活用した教育について

6 視察の経過及び感想

(1) 第9回子どもとメディア全国フォーラム

「スマホ社会における子どもの育ちの歪みや遅れの実相」を、幅広い分野の専門家・先生方と共に明らかにする意義ある2日間でした。

トークセッション1「スマホ社会と子どもの育ち」では子どもの身体と心に焦点をあて、脳の発達や目の発達に与えるスマホ社会の影響に

についての教授や医師による報告でした。特別講演「ゴリラ研究者から

「みたスマホ社会」では700万年に及ぶ動物の進化を基に、優劣重視の「サル社会」、勝ち負けのない「ゴリラ社会」などの研究を通して人間社会の特徴を述べられ、子どもたちに何を提供していくのか今後の課題につき言及された。その他トークセッション2, 3においても、身体・依存・睡眠について各専門家が話された。本市においても、乳幼児の保護者への啓発が急務であることを伝えていきたい。

#### (2) e-ZUKAトライバレー構想について

石炭産業の斜陽後、情報工学等の大学誘致に成功し、学生や研究者が集まり、産学官の連携から人材育成、ベンチャー支援をすすめている。ICTは必須環境であり、議会のタブレット導入やプログラミング教育も進んでいる。うまく時代の波に乗ってこられたと感じる。

#### (3) ふれあいバス・ふれあいタクシーについて

民間バス事業者、民間タクシー事業者と協議を進め、市の自家用有償バス、デマンドタクシーを運行する多久市から、倉吉市の公共交通の方向性を考える参考となった。

#### (4) ICTを活用した教育について

平成23年より平成32年完了を目標に、電子黒板、書画カメラ、デジタル教科書を計画的に整備している。平成27年には支援学級も含む、全小中学校の各教室に電子黒板が整備された。機器がなければ活用もできない。デジタルコンテンツを活用することにより、より分かりやすい授業へと幅も広がっている。ネット環境が光ではない所が仮題。

倉吉市も全域が光環境となりネット環境が整うことが、教育にも、企業誘致・移住においても重要なポイントとなると思われる。

7 添付書類

(1) 第9回子どもとメディア全国フォーラム 会場写真

---

(2) 第9回子どもとメディア全国フォーラム 名刺

---

(3) 飯塚市・多久市・唐津市の面会者の名刺

---

要した経費： 1人 合計 103,360 円